

令和5年度 玉野市行政改革推進委員会 議事概要

名称	令和5年度行政改革推進委員会	
日時	令和6年3月25日(月) 10時30分～12時00分	
場所	玉野市役所3階 特別会議室	
出席委員	大東 正虎 委員(会長)	加藤 珪一 委員(副会長)
	住吉 孝文 委員	水本 阿美 委員
	三浦 康男 委員	土井 清香 委員
	江田 康夫 委員	亀田 梱 委員
事務局	玉野市長	柴田 義朗
	玉野市副市長	市倉 勇樹
	財政部長	渡邊 聡志
	財政部財政課長	森 真志
	財政部財政課行革・歳入確保対策係長	田村 美香
	財政部財政課行革・歳入確保対策係	内田 大貴

1 開会

2 市長挨拶

市長	<p>本日はお忙しいところ玉野市行政改革推進委員会にお集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>行財政改革につきましては、昨年度、皆様方にご意見をいただきながら第8次の玉野市行財政改革大綱を策定したところでございます。それに基づいて、今年度から行財政運営を行っておりますが、本日はその取組状況についてご報告をさせていただき、皆様方から様々なご意見をいただければと考えております。</p> <p>今回の行財政改革は、コストカットはもちろんですが、より適正な収入の確保といった観点を加えてのものであります。</p> <p>そういったことから、より適正かつ公平・公正な市政の運営に向けて、市民目線で皆様方からご意見を賜れればと思っております。限られた時間ではございますが、忌憚のないご意見をいただければと思います。本日はよろしくお願いたします。</p>
----	---

3 委員・事務局紹介

4 議事	玉野市行財政改革大綱 令和5年度実績報告及び令和6年度実施計画について
事務局	資料「玉野市行財政改革大綱 令和5年度実績報告及び令和6年度実施計画」について説明

以下、質疑応答

委員 A

「教育サポートセンターの移転先の検討」についてですが、以前は教育サポートセンターに通う場合に、交通の利便性が悪かったのですが、公共交通の担当課でシーバスの見直しをしていただき、現在は教育サポートセンター前に停留所を作っていただき、好評であると聞いております。相談後の帰宅時間が子どもによって違いますので、対応できない部分はありますけれども、本当に利便性の良い場所というのは、保護者の方にとっても大切だと思っております。

ただ、実際に利用している子どもや保護者からは、「賑やかなところではなくて、目立たないようなところの方が行きやすい。」といった意見もありました。

そういった意見も含めて、学校の適正規模・適正配置の問題等も絡めて考えていただけたら、もっと充実した教育サポートセンターになるのではと思っております。

それからもう一点、「渋川周辺の活性化」についてお話をいただいたわけですが、本当にありがたいと思っております。

実は本日、アメリカの大学教授が来日しておりまして、20年間アーカンソー州立大学の学生を10数人引率して来てくれています。毎年玉野市へホームステイをしていただき、親睦を図ってくれている教授なのですが、渋川海岸からの眺めをもう一度見たいと言われておりました。

外国の方から見ても本当に素晴らしく、良い景観だということをお話してくれました。そういった意味でも、更なる集客に繋がるようにもっと充実していただくような政策を考えていただけるとありがたいと思います。

委員 B

女性活躍の時代と言われていますが、部長級や課長級の女性管理職比率の目標はあるのでしょうか。

事務局

設定数値までは把握できておりませんが、総務課の男女共同参画プランで市の女性管理職比率の目標数値を設定しております。

委員 B

他市と比べてどうなのでしょう。

市長

まさに女性活躍は大きな課題の一つだと思っております。本市の状況では、昨年度、管理職に課長級も増えましたし、今後もまた増えていくのではないかと考えております。一般職員の女性割合は4割ぐらいと聞いております。

管理職が手挙げ方式になっておりまして、昇任試験を受けないと、管理職にはなれないという制度がございますので、手を挙げる女性が従来あまり多くな

かったこともあり、なかなか進んでいなかったのですが、女性にもっと活躍していただきたいということで、後押しをしていきたいと思っております。やはり優秀な人材は男女問わずしっかりと活躍してもらえよう体制を作っていくしていきたいと思っております。

委員 C

「公共施設編成整備の推進」について、平成 26 年 5 月に総合文化センターのあり方検討会がありまして、その後文化センターはメルカに移転しました。

その折に、「あり方検討会はまだ現存しているのですか」と伺いましたら、「現存しています」というお答えをいただきました。これは何のために言っているかと言いますと、玉野市に文化に対する施設があまりにも少なく、発表する場所もないところで、その他の文化に対する対策の項目をどこかに掲載していただければと思いました。

それからもう一つ、「幼保一体化の推進」について、玉野市で今一番大切なのは人口減少を止めること、この人口減少は統計を出していただきましたように、これから先もずっと続いてきます。これは人口減少対策委員会か何かを立ち上げる必要があるほど大きな課題だと思うのですが、この課題が項目にないので、考え方を教えていただければと思います。

事務局

まず、公共施設再編の関係でございます。市長のマニフェストにも掲げております市民会館の建設につきましては、財源も非常にかかる話ですので、現在、慎重に検討しているところではございますが、例えば来年度ですと、シンポジウムの開催についての経費を別途計上し、様々な意見をいただく中で、今後その実現性について検討を進めているところでございます。

また、人口減少につきましては、日本全国の大きな課題であると認識してございます。例えば健康支援や少子化対策など、様々な政策を展開していく中で、人口を増やしていくことが理想ではありますが、より現実的な考え方として、人口減少の傾斜が緩やかになるような対策はできないかと考えているところでございます。

来年度の 4 月からは、こどもみらい課という子育て支援部署を新設し、今後の人口減少対策を推進していきたいと考えてございます。

委員 C

この人口減少についての一番のポイントは、人口が少なくなって高齢化が進んでいるというよりも、出ていく人が多いという課題の研究をしているのかどうかをお尋ねしたかったのです。

事務局

本行革では様々な切り口で各種項目を設定しておりますが、その中では直接的に人口減少対策という項目は位置づけてはございません。本行革は、自主財

源の確保や今あるサービスの質的向上を目指すといった切り口の計画となつてございます。人口減少対策は単一の事業ではなかなか効果が出ないことから、今年度からの新たな総合計画において、本市の行政運営に必要な各種政策を位置づけておりますので、そうした政策を着実に展開していくことによって人口減少に歯止めをかけていきたいと考えてございます。

市長

本当に人口減少が大きな課題で、市としても色んな取組をやっているところですが、それを専門に扱う部署がないということで、政策部に移住定住に係る部署を新設し、人口減少対策に努めているところであります。また、転出が多いという玉野市の現状から、転出者を何とか食い止めながら転入者を増やしていくことが重要であると考えております。

今年度は人口減少に着目した総合戦略の見直しを予定しております、そういう中で戦略的に進めていこうと考えており、併せて体制についても考えていく必要があると思っております。

また、市民会館についてですが、昨日、荘内公民館で開催された市民コンサートにおいて、大勢のお客様が来られている状況を拝見し、改めてもう少し本格的な大きなホールで大がかりにできたらいいのにと感じしておりますし、そういう場を作っていくことが次世代のためにも必要なことだと認識したところです。今年度は、調査研究をもう少し本格化させて、シンポジウムや市民の意見を聞くような機会を作っていく予定としておりますので、ここでも市民の皆様方のご意見に耳を傾けていきたいと考えております。

委員 B

要望です。小学校とか中学校の統廃合の問題を今検討していると思うのですが、検討した後施設をどうするのかという計画がないので、その後はその後でまた別計画だということかもしれないですが、空いてからどうするのかというのではなく、並行して検討できないかという要望です。

市長

これから学校の再編計画を作っていきますので、その辺りもにらみながら跡地の有効活用について平行して検討していく必要があると考えています。

委員 D

行財政改革に当てはまるかどうかわかりませんが、外国の方が玉野市に沢山来ていただいているので、そういうものに対する予算、例えば競輪場に流れを持っていったり、渋川を見てもらおうとか、何か外国人に興味を持ってもらえるようなものに予算を取れるようなことがあればいいのではないかと思います。

事務局

現在、玉野市には大勢の外国の方が来られており、また一方で競輪事業も活況ですので、こうした事業とタイアップできたらと考えておりますので、本日

いただいたご意見を所管課に伝えたのち、どのようなことが実現できるかを考えていきたいと思えます。

委員 E 「渋川周辺の活性化」について、令和 5 年度に、行政と民間が一体となって多くのイベントが開催されていて大変うれしく思います。駐車場の利用台数という目標値があることに對して、各イベントの参加集客数の目標値はそれに見合ったものがあるのでしょうか。

事務局 各イベントに対する目標値の設定については把握しておりませんが、最近、グランピング施設や吉本興業とタイアップした様々なイベントの実施により、従来と比較して、観光駐車場の利用台数は増加傾向にあるとは考えております。今後も引き続き各種イベントを開催していくことによって渋川の活性化に繋げていければと考えております。

委員 F 質問表を出していたとおり 4 点あります。

1 点目は、財政調整基金残高の維持であります。以前に頂戴した玉野市行財政改革大綱に書いている財政調整基金残高 48.9 億円を維持するというのですが、これがどうなっているのかの説明をお願いします。

2 点目は、経常収支比率について、令和 3 年度は 87.8%でした。理想的には 80%以下が望ましいと言われておりますが、令和 5 年度も 80%台を維持できているのかどうかお尋ねしたいと思います。

それから 3 点目は、先ほど最後にご説明がありましたが、行革の目標効果額が 9,500 万円に對して、実績が約 3 億 5,000 万円ということで立派だと思えます。ふるさと納税も競輪事業も非常に立派だと思えますが、ちょっと心配なのは分譲地の売却で、これの先行きの見通しがどうかを心配しています。

それから 4 点目、どちらかと言えば要望になりますが、「人材育成の推進」についてです。企業は人なりといいますが、行政も人なりだと思えます。最も重要なことは、職員が市民から気の毒だと思われるくらい働くことが大切ではないかと思えます。特に使用料や手数料の負担など、市民にこれからお願いしようとしている時には、やはり市の職員の働きぶりが極めて重要だと思うので、そういう心構えに對する教育をお願いします。

事務局 まず 1 点目です。大綱の中で、財政調整基金 48.9 億円を維持するとしております。令和 4 年度末の財政調整基金の状況でございますが、少し増えて 58.9 億円となっております。

しかし、本庁舎整備や広域ゴミ処理施設、病院の建設などの様々な大型事業の実施が見込まれており、今後、若干目減りしていく傾向にはありますが、今年度策定した中期財政試算では、計画最終年度である令和 8 年度末の基金残高

の見込みは、約 64 億円程度にまで積み上がる見込みとなっています。

次に、経常収支比率が 80% 台以下になるかということですが、令和 4 年度の普通会計ベースの決算では、令和 3 年度の 87.8% から 2.9% ほど増加して 90.7% となり、若干悪化しております。経常収支比率はそれぞれ分母、分子がありまして、分母でいいますと常に入ってくる歳入である経常一般財源、これに対して、分子が毎年度常に歳出していく必要がある事業に充当する経常経費充当一般財源となっています。悪化した要因の一因としましては、東清掃センターの改修がございまして、これまでは改修分の元金の利息しか償還していなかったものが、元金部分の償還が始まったことまた、扶助費が 1 億円程度増加傾向にあることから、分子が若干増加し、経常収支比率も若干マイナスになったものです。

令和 5 年度については、あくまで現段階の見込みではありますが、法人市民税が減少する見込みでありまして、経常収支比率の算出に係る分母が若干減少する見込みですので、令和 4 年度よりも若干悪化することが見込まれています。

次に歳入の関係ですが、目標効果額 9,500 万円に対しまして実績見込額は約 3.5 億円ほどに増えておりまして、こちらの効果としては、ふるさと納税が大幅に増額になっていること、競輪事業が引き続き好調ということで、一般会計への繰入金が大きくプラスとなったことが主な要因であります。懸念されている分譲地につきましては、おっしゃる通り下回った実績となっております。こちらは計画の課題等にも示しているとおおり、昔と比べて 1 区画当たりの需要面積が小さくなっていること、建築費用全体を抑えるために土地の費用を極力抑えたいといった現状があり、分譲当時と比較して購買者ニーズが大きく変化しておりますので、そういった購買者の考え方を再考しながら、今後の分譲地の売買展開について所管課と協議していきたいと考えております。

最後に人材育成の関係でございまして、おっしゃる通り、市の職員は全体の奉仕者として働くというのは当然あります。一方で、全国的にワーク・ライフ・バランスの実現が求められているところもございまして、もちろん住民サービスの低下を招かないような形で、働き方改革とのバランスを考えながら、地方公務員の責務の達成に向けて取り組んでいきたいと考えております。

委員 G

全ての課題や問題は全て紐づいていると思っています。今後、玉野市の観光業に力を入れていく中で、確かに経費削減は必要なのですが、収入を増やすことも大切だと思っています。一番はやはり公共交通機関が少ないところがあるのが一つ、子どもと休日に出かけようと思っても、休日の方が平日に比べて便数が少なかったりするので、今あるものをもう一度組み立て直した方がいいのかなと思います。家族でどこかに出かけようかな、バスが安くなったなとなって便数が少なければ誰も利用しませんので、誰にどのように使ってもらいたい

のかというのを明確にすればもう少し今ある中で組み立て直すことができるのではないかと思います。

委員 C

項目にはないのですが、瀬戸内国際芸術祭において長いことお世話をさせていただいたのですが、玉野市にどれだけの人たちが散策し、どれだけの人たちが飲食しているか、そういった統計がないのでしょうか。築港の人にうかがっても、その人たちがお店に入った経験がないとか、フェリーを降りた外国人にお聞きしたところ、見るところがないので船が来るまでこの近辺で歩くしかない。施策として、玉野市は、これだけ瀬戸内国際芸術祭に毎年予算を組んでいます、その効果がどうなのかというパーセントぐらいはこういったところに掲載できるように。人を呼ぶ柱になる施策が1つもないんですよ。

結局、直島はそれがあるためにドル箱です。お店も流行っていてレストランも繁盛しています。玉野市も始まってからずっと参加していますが、その傾向が来ている人に伝わっていないので、何かそういう政策やシンボリックなものを作っていただければという想いです。

市長

大勢のお客さんが通っていますが、通過点になっているということで、多少飲食店があるにしても、玉野市自体が目的地になっていないという現状があります。平均的な消費額や宿泊費に通った人数を掛け合わせて出せないことはないと思いますが、経済効果はなかなか正確には出しにくいですね。

ただ、玉野市に何か魅力を感じて、もっと楽しんでもらえるような場所になって、地元にも経済効果が起こるようなものを考えていきたいと思っています。来年には宇野港をもう少し綺麗にリニューアルして、もっと楽しめるような空間にしようということで、来年度予算で調査研究費をつけておりまして、一部魅力向上を目指した事業を先行して実施していく計画としています。

いずれはもう少し本格的なアートであるとか、市民会館的なホールであるとか、そういうものが宇野港周辺にあれば、もっと楽しんでもらえるようなことになるのではないかと考えています。その辺りも含めて、来年度検討していきたいと思っています。

5 閉会・副市長挨拶

副市長

本日は、委員の皆様方には、大変お忙しい中ご出席をいただきましてありがとうございました。

本日は、今年度の実績報告と来年度の実施計画について説明、ご議論いただきましたが、いただいたご意見につきましては、各項目の所管課にもフィードバックをさせていただき、来年度の計画実施に向けてより実効性の高いものにしていければと考えております。

いずれにいたしましても、持続可能な行財政運営ということで、職員一丸と

なって今後とも頑張ってもらいますので、皆様方には引き続きご支援とご理解をいただければと存じます。

本日は誠にありがとうございました。

了